

資料提供	
令和4年8月23日	
担当 (担当者)	県立図書館 (佐藤)
電話	0857-26-8155

『解体新書』を平井知事が観覧します！

この夏、県立図書館では、昨年度、県民からご寄贈いただいた『解体新書』のホンモノを、初公開する資料展を開催しております。本日8月23日(火)午前11時45分に知事が観覧しますので是非取材をお願いします。

『解体新書』は、本格的な図譜を載せた医学書としては、本邦初の訳本として知られています。全5冊揃いの完本を所蔵する機関は少なく、大変貴重な資料です。

関連して、鳥取県の洋学、図書館所蔵の江戸時代の医学書、鳥取出身医学者・^{いなむらさんぼく}稲村三伯、県立病院の歴史等も紹介しています。

1 資料展の名称 「KAI・TAI—SHIN・SYO —初公開、『解体新書』がやってきた—」

2 展示内容

- (1) 『解体新書』について 原資料の展示
- (2) 江戸時代の洋学、鳥取県の洋学
- (3) 図書館所蔵の医学書、原田帯霞^{はらだたいか}旧蔵書 ほか (原田帯霞…藩医・天然痘種痘術伝習)
- (4) 鳥取出身の医学者・稲村三伯 (稲村三伯…藩医・本邦初蘭和辞書編さん)
- (5) 県立病院の歴史

※展示資料数 約40点 (参考資料を含む)

- 3 会期 令和4年8月1日(月)から8月30日(火)まで
 - ・休館日 8月11日(木・祝)
 - ・開館時間 午前9時～午後7時(土、日、月曜日及び祝日は午後5時まで)
- 4 会場 鳥取県立図書館 2階 特別資料展示室
- 5 その他 とっとり県民カレッジ連携講座



『解体新書』

江戸時代(安永3年/1774年)の西洋医学書の翻訳版。

本文四巻、序・図譜一卷からなり、^{まえのりょうたく}前野良沢、^{すぎたげんぼく}杉田玄白らが手がけた。

ドイツ人クルムスの解剖学書をオランダ語訳書(通称『ターヘル-アナトミア』)により重訳したもの。精緻な図譜を完備した医学書としては、本邦初の西洋医学翻訳書であり、神経、軟骨、動脈などの訳語を創り出した。